

待望の学校再開 喜びの声



319号
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2020

みんなでつくる
錦城高校新聞

ついに学校再開！
6月2日、2年生の
第一回目の登校日の
様子をお届けします。

2年生が1回目の登校

東京都でも緊急事態宣言が解除され、時差通学・分散登校といった形で学校登校が昨日から再開された。今週6月1日(月)〜6日(土)までは登校準備期間とされ、昨日(2日)は2年生のみの登校日。約2か月ぶりに登校した3年生の様子を速報版で伝えたい。

始業式・HRの様子

2年生は昨年度の3月から、約3か月ぶりの登校となる。14時から4クラスと学年を



2年K組のホームルームは、柔道場で行われた。感染拡大を禦ぐため、一人一人の間隔を開けて座る。

つた。昨日は登校準備期間の1回目登校日。10時から4クラス、12時から4クラス、14時から4クラスと学年をHRが行われた。

3分割して、分散登校となった。それぞれ、体育館やホールなどの広い施設・大教室を使って、クラスごとに始業式、HRが行われた。

例えばあるクラスのHRでは、今後の分散登校の日程や新型コロナウイルスの第2、3波に備えた「Google Classroom」への登録方法などを確認。ホームルーム中、生徒たちはみなメモを取りながら真剣に先生の話しに耳を傾けていた。

新しいクラスメイトと対面

小林布侷さん(2K)と加茂

休校期間・短縮授業期間中には

オンラインで新聞つくっています！

編集部ではこの休校中にも、オンラインで錦城生や卒業生、さらには世界各国の高校生などにも取材やアンケートをして、「休校特別版」の新聞を作成してきました。オンライン取材では対面で話をしながら取材をすることが出来ないため、通常の取材よりも大変なこともあります。ですが、こんな時だからこそたくさんの錦城生の声を錦城の歴史として、新聞に刻んで行くためにも新聞をつくっています。新型コロナウイルスの影響がいつまで続くは分かりませんが、これからもたくさんの錦城生の声を取り上げていきたいと思っています！そして、1年生の皆さん！私たちと一緒に新聞づくりをして、錦城の歴史を残していきたいませんか？



PCの編集画面はこんな感じ。



顔認証体温測定が昇降口に設置された。

玲奈さん(2K)は、学校が再開して「みんなに久しぶりに会えて嬉しいです」と口をそろえる。「授業が再開して、勉強も受けたい、という気持ちもあるが、今の状況を考えてどうするかを考えている。そう。これからの学校生活について関心は「学校に行く回数が増えてしまうので、早くクラスの人の顔を把握しようとするなど1日1日を大事にしていきたいです」と話した。

「主体的に生活して欲しい」
2年G組担任の森本慶先生は「これから先、『錦城版・新生活様式』に沿って生活にすることに当たり、生徒の皆さんの毎日の体調管理や我慢、他人への気遣いのある行動が必要不可欠です」とコメント。さらに、通常の学校再開に向けて「日々の学習や感染予

強についていけるか心配です」と、不安も見せた。また、「久しぶりに学校に行く、友だちと話すことが出来たのでうれしかったです」と振り返るのは、関直哉くん(2

2年生は、5日の金曜日が2回目の登校日で、ホームルームが行われる。今後、6月22日まで引き続く偶数組と奇数組に分かれて分散登校、短縮授業が行われる予定だ。登校時には必ず検温、マスク着用をすることがホームルームでの先生からの話でも伝えられた。まだまだ感染拡大予防に向けて個人での配慮が必要な時期だ。感染予防をしっかり行い、少しずつ日常を取り戻していこう。